

卒業生の声

受験を振り返って



下口 ういか
(山代中出身)

神戸大学
国際人間科学部
子ども教育学科

私は、大学受験が終わった今、受験は団体戦だとほんとうに感じました。周りの友達や先生方の支えがあったからこそ志望校に合格できたと思います。私は、部活にも力を入れていました。平日は夜遅くまで部活があり、勉強時間を確保するのが難しかったため、学校での授業でしっかりと理解できるように心がけていました。分からないことがあっても、授業中や授業後に友達や先生にすぐ教えてもらっていました。勉強をしていると、どうしても不安になる時があると思います。そんな時は、先生方に不安なことを聞いてもらったり、友達としゃべって不安なことを笑い飛ばしたりすることで、乗り越えられると思います。周りの人をどんどん頼って頑張ってください。



荒谷 夢月
(松陽中出身)

名古屋大学
工学部環境・
土木建築学科

僕の高校生活での大きな目標は、勉強と野球の両立です。そのうち、勉強面では旧帝国大学に進学すること、野球面では個人として公式戦でホームランを打ちチームとして公式戦で私立高校に勝利することでした。僕はこの目標を達成するには大聖寺高校がベストだと感じ入学しました。今感じる大聖寺高校の利点は、生徒と教師の距離が近い、個人の指導が手厚い、トップを目指すことができる、仲間と切磋琢磨できる、などが挙げられます。他の進学校にはない親しみやすさが大聖寺高校にはあると思います。この親しみやすさが居心地の良さにつながり、より密な関係性を構築でき、質の高い学習ができるため、学力の向上が図られると思います。大聖寺高校は恵まれた環境です。



荒川 優矢
(片山津中出身)

公立小松大学
国際文化交流学部
国際文化交流学科

私は、国際交流や異文化理解に興味を持ち、二年生の時から公立小松大学に進学することを目標として頑張ってきました。そして三年生の総体や体育祭が終わってから本格的に入試の準備に入りました。小論文の試験は英文で出題されるので英語の先生と何度も過去問を解き、国際に関する新聞を読んで国際知識を高めました。面接練習は担当の先生以外にも校長先生をはじめ多くの先生に協力してもらいました。三年生の時の先生の言葉を借りると「勉強して成績が伸びることは嫌ですか？絶対誰でも嬉しいはずです。」私はみなさんにできるだけ早く本気になって欲しいです。いつ本気になるかで今後の人生が変わるかもしれません。